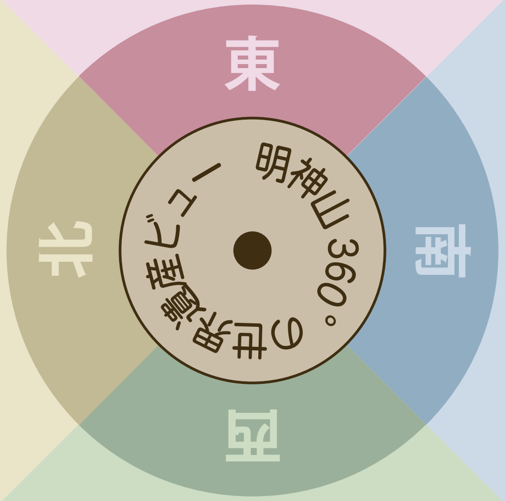
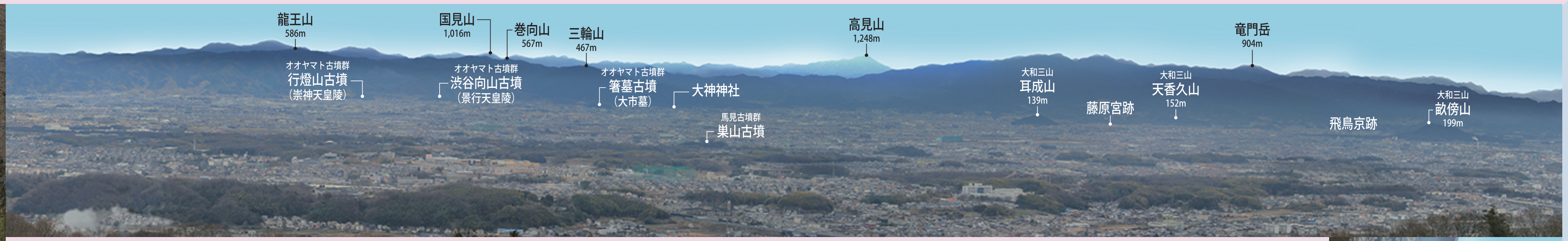
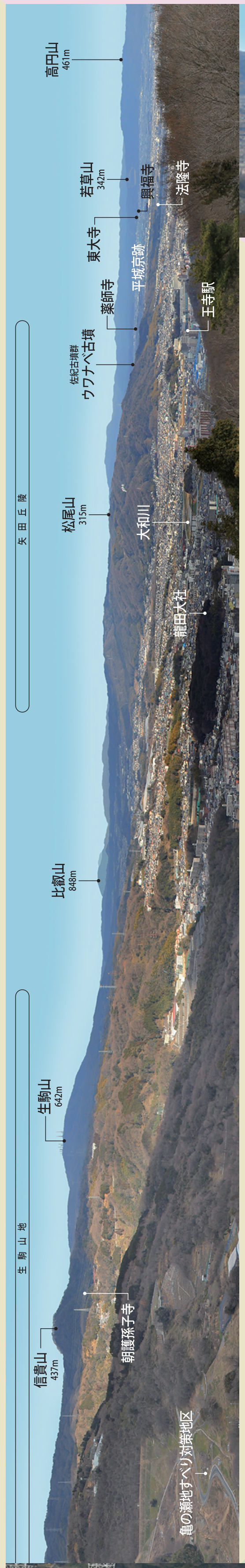




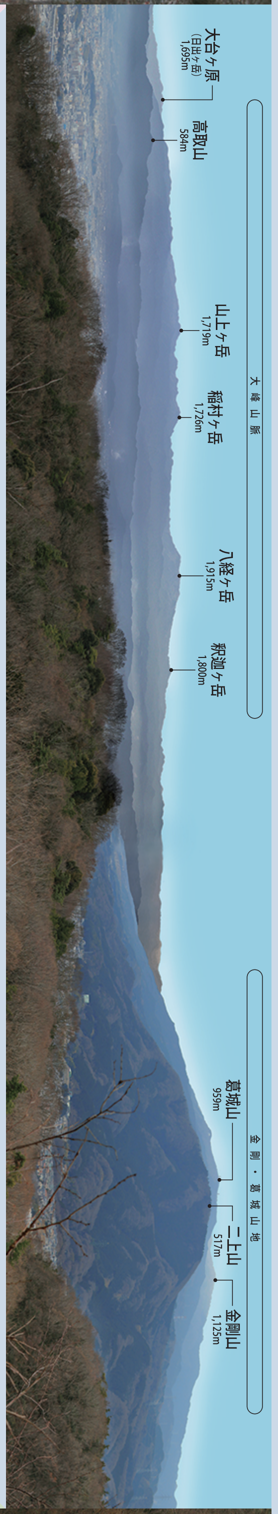
世界遺産ビュー① 古都奈良の文化財

明神山から東を見れば、世界遺産「古都奈良の文化財」が見渡せます。そこは奈良時代の平城京の地であり、それ以前は日本初の本格的な都城として藤原京に都がありました。さらにそれ以前は飛鳥に宮殿が営まれ、そもそもの始まりは三輪山周辺に拠点があったと考えられる古墳時代のヤマト王権にまでさかのぼります。箸墓古墳は女王・卑弥呼の墓ともいわれ、ヤマト王権の大王らの墓としてオオヤマト古墳群、佐紀古墳群がつくられました。これらすべての歴史が奈良盆地で展開したのです。



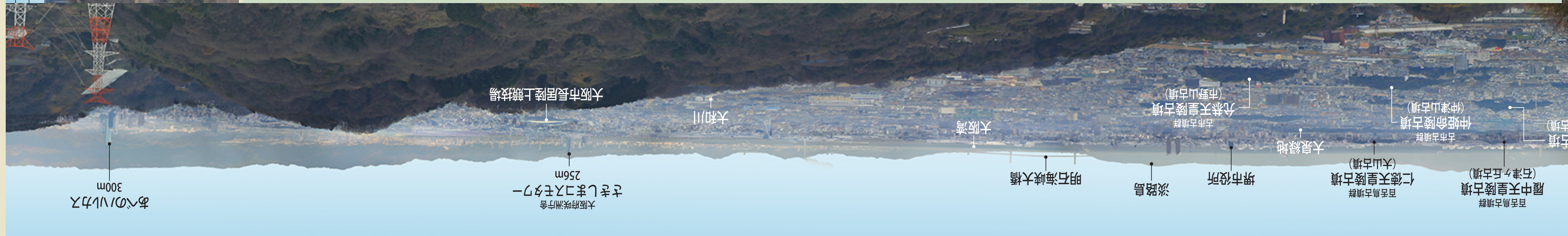
世界遺産ビュー②・③ 法隆寺地域の仏教建造物・古都京都の文化財

明神山から北を見れば、世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物」を構成する法隆寺がはっきりと見えます。今の法隆寺は飛鳥時代末頃に再建されたものですが、もとは聖徳太子が生活拠点となる斑鳩宮とともに建立しました。斑鳩の地は、大和川とその北岸をとおっていた竜田道があることろで、交通・流通の要衝といえます。また、北を遠く望めば比叡山が見えます。比叡山には世界遺産「古都京都の文化財」を構成する延暦寺があり、平安時代に都が奈良から遷った位置を知ることができます。



世界遺産ビュー④ 紀伊山地の霊場と参詣道

明神山から南を見れば、近畿地方の最高峰である八経ヶ岳（標高 1,915m）、釈迦ヶ岳（同 1,800m）、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成する大峰山寺のある山上ヶ岳（同 1,719m）を見ることができます。ここには飛鳥時代に役行者が開いたという修験の道があり、奈良盆地と見比べることで、その道の険しさを知ることができます。和歌山県の友ヶ島から金剛山、葛城山と続く山々にも役行者が開いたとされる葛城修験の道があり、明神山がその終結地ともいわれています。



世界遺産ビュー⑤ 百舌鳥・古市古墳群

明神山から西を見れば、大和川の谷の先に開けた大阪平野に世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」が見渡せます。3世紀半ば頃から奈良盆地のオオヤマト古墳群に始まったヤマト王権の墓域は、佐紀古墳群へと移り、4世紀後半頃になると奈良盆地を越えて、百舌鳥・古市古墳群へと移りました。古墳群の先には大阪湾、明石海峡があります。日本最大の古墳である仁徳天皇陵古墳（全長 486m）に代表されるように、ヤマト王権がなぜこの地に、しかも巨大な古墳を営んだのかが実感できる景観です。

奈良県 王寺町で楽しむ
世界遺産ビュー

Mt.Myojinyama

明神山

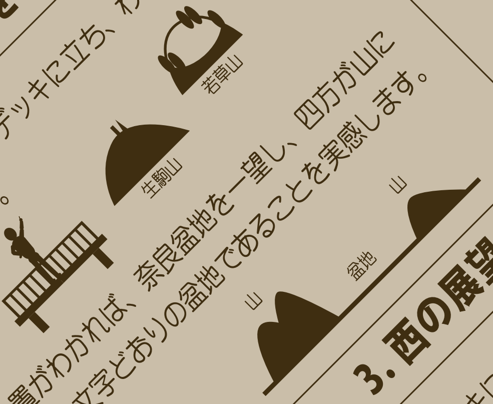
標高 273.6m

明神山から世界遺産ビューを楽しむ方法

明神山は標高273.6mの低い山ですが、山頂では360° の大パノラマがひらけ、5つの世界遺産を目にすることができます。しかも、奈良盆地や生駒・金剛山地、大阪平野など周囲の地形を知れば、そこを舞台に展開した歴史が空想でき、よりいっそう世界遺産ビューを楽しむことができます。

1. 東の展望デッキに立ち、方角を確かめる

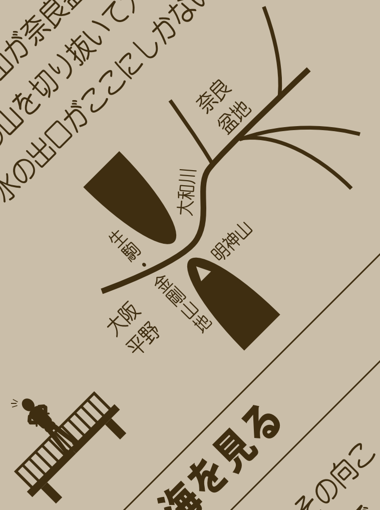
山頂にある 3 つの展望デッキのうち、東のデッキに立ち、わかりやすい山を見つけて、方角と位置を知ります。



方角と位置がわかれば、奈良盆地を一望し、四方が山に囲まれた文字どおりの盆地であることを実感します。

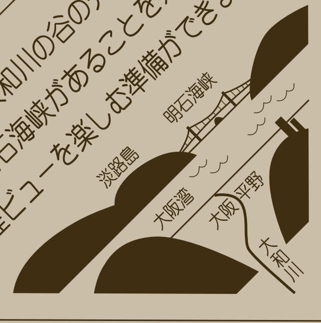
2. 北の展望デッキに立ち、大和川を見る

北のデッキに移動し、明神山が奈良盆地の西を区画する生駒・金剛山地にあること、そして、その山を切り抜いて大和川が流れていること、さらに、奈良盆地の水の出口がここにしかないことを認識します。



3. 西の展望デッキに立ち、海を見る

西のデッキに移動し、大和川の谷の先に大阪平野が、その向こうに大阪湾と明石海峡があることを知ります。これで世界遺産ビューを楽しむ準備ができました。



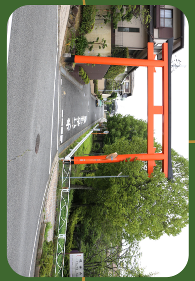
明神山 山頂までの道のり

山頂に
トイレ・休憩所・展望デッキ
あります。

明神山参道

参道鳥居から山頂まで
徒歩で 1.8km、約 40 分

明神山参道は徒歩のみ通行できます。
お車は明神山駐車場（9 時から 19 時）
をご利用ください。



参道鳥居

明神山駐車場

「明神四丁目」バス停

王寺駅から「明神四丁目」バス停まで
バスで約 15 分
徒歩で 3km、約 50 分

香芝インターチェンジ方面から

香芝インターチェンジから明神山駐車場まで
車で 2.6km、約 5 分

「王寺ニュータウン入口」交差点を左折

イチョウ並木をのぼって

王寺駅方面から

「王寺中学校前」交差点を左折

王寺スカイヒルズをのぼって

お問い合わせ
王寺町観光協会
奈良県北葛城郡王寺町久度 2-2-1-501
0745-33-6668